



東小だより

やさしく かしこく たくましい 東っ子

第17号
桐生市立東小学校
令和3年11月15日
(文責 鈴木 智行)



読書の秋 芸術の秋

11月も半ばに差しかかり、日に日に秋が深まってきています。

学校では読書週間に合わせて、「東小 秋の読書キャンペーン」を進めてきました。読書記録カードを活用したり学級図書の本の冊数を増やしたりして、児童が読書に親しめる取組や環境づくりを行っています。



また、秋は「芸術の秋」でもあります。10/26(火)にはカンジヤマ・マイムによる「パントマイム」を全学年で鑑賞し、11/10(水)には、3・4年生がパントマイムを実際に体験しました。ワークショップでは基本的な動きを練習した後、話

の流れに合わせて自分で動きを考え、一人ずつ楽しそうに発表していました。

さらに、11/9(火)には国語の教科書で取り上げられている「狂言・柿山伏」を6年生が鑑賞し、狂言の動作なども体験しました。人間国宝でもある大蔵流山本会の演技を目の前で見たり体験したりすることで、言葉の響きやリズムを味わい、日本文化への理解や関心を高めることができましたと思います。



この2つの行事は文化庁や桐生市スポーツ文化事業団の事業を活用し

て実施しました。今後もこのような事業を活用して子どもたちが「本物」を味わうことができる機会を設け、広い視野と豊かな心を育めるようにしていきたいと考えています。



11/11 6年生修学旅行（日光方面）

秋空の下、6年生が修学旅行に行ってきました。東照宮ではたくさんさんの修学旅行生でにぎわう中、児童は三猿や陽明門、眠り猫などについて現地ガイドさんの説明をよく聞いていました。世界遺産でもある東照宮のきらびやかさに、三代将軍家光がいかに祖父家康を尊敬していたか、その思いを感じることができました。



また、日光江戸村では各グループが事前に立てた計画をもとに協力して行動することが



できました。屋形船に乗ったり、お面を付けて歩いたりするなどして、江戸時代の雰囲気を楽しみながら、友達と仲良く過ごすことができました。日帰りの修学旅行でしたが、小学校生活のよい思い出となることでしょう。